京城新報

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢 ▲二號活字…別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久鋳一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六六番
仁川宮町三丁目 仁川支局 電話二一一番

議會と朝鮮法規(二)

十一、明治四十年法律第四十八號中改正法律案(政府提出)本案は…加算に關する法律案中…統監府を總督府等に改めんとするにあり…て衆議院にて修正貴族院は修正案通り通過せり

十三、明治四十三年度特別會計歳入歳出追加豫算(政府提出)水道買收費原案の通り兩院を通過す

十四、朝鮮に於ける領事裁判に關する件(政府提出)朝鮮に於ける領事裁判官の權限に關し特別法律を制定せんとするものにして原案通り兩院を通過す

十五、韓國政府財政資金の繰入に關する法律案(政府提出)本案は韓國政府の資金勘定に屬する資金を朝鮮總督府特別會計の歳入に繰入れんとするものにして原案の通り兩院を通過す

十六、司法事務共助法案(政府提出)本案は内地及樺太朝鮮臺灣關東州又は領事裁判權を行ふ地域に於て司法事務を取扱ふ官廳間の司法事務の共助に關する規定を統一整理せんとするものにして原案の通り兩院を通過せり

十七、朝鮮銀行法案(政府提出)本案は從來の韓國銀行を朝鮮銀行と改め保證準備額を增加し朝鮮に於ける金融の中樞機關として其の業務を繼續せしめんとするものにして衆議院に於て修正貴族院にては修正案通り通過せり

十八、朝鮮の關税に關する質問(早速代議士提出)關税法を朝鮮に施行し經濟甚深の策を取らざる政府の方針を質さんとするものにして大藏大臣より答辯せり

十九、朝鮮辯護代理業者に關する件(岩本英夫提出桧田源治紹介)本案は從來辯護代理業者たる許可を得たるもの以て辯護士たるを承認せられんことを請願したるものにして衆議院に於ては採擇すへきものと決す

二十、朝鮮民團議員任期延長民に關する質問(鈴木梅四郎士提出)本案は民團議員の任期か明治四十三年十月二日を以て滿了したるを府令を以て明治四十四年三月三十一日迄で其の任期を延長した事由を質問し總理大臣の名を以て答辯書を出せり

二十一、清津會寧間鐵道急設のは(岩田代議士提出三浦…紹介)本案は清津會寧間の鐵道急設に關する請願にして衆議院に於ては採擇すへきものと決す

●滿洲と朝鮮米

今や殆んど朝鮮米の獨占に歸し内地米の輸入は全然跡を絕つに至れり而して現今大連へ向けての輸出高は二月中約一萬八千叺を計上し是か輸出の區別は仁川より七千叺鎭南浦より四千四五百叭木浦より五千叺群山より千叺内外にして其の總玄米の輸出は八千叺を算し尙年々增進の傾向あり殊に好現象とすべきは近時滿人の鮮米需用著るしく增加しつゝあることなりと云へり

滿洲の白米は畑となり森林の如き無盡藏なり日本人は今や二十萬人に達し而も一年毎に其の數を加へつゝあり…鐵嶺の領内にも森林、石炭、鐵鑛等に富まざるにあらざるも全くこれを開發するの企圖なきを如何せん云々

●本年度の土地調査區域

本年度の土地の調査に關する現在の狀況は京畿道に於ては始興、果川、安山、仁川、通津、水原、南陽、江華、喬桐、高陽、安城、陽城、振威、龍仁、陽智、竹山、陰竹、利川を始め忠淸北道の陰城、永川、慶尚北道の密陽、慶尚南道の密陽、靈山、昌寧、蔚山、梁山、機張、東萊金海方面まで擴張し現在十分班(一分班は十八人)の出張員も四月初旬に四分班八月よりは二十六分班、來年三月よりは五十六分班を增加する豫定にして四月より分班は今回卒業したる同局測量手養成所の卒業生四十九名を充當し新たに入學したる二百五十七人は八月よりの分班に充て其頭入學せしむる二百五十八人は來年三月よりの分班に充つる筈なりと

●露人の樺太觀

目下長崎に滯在中なる露國某貴族の談に曰く日露戰爭後ポーツマスの條約に據り樺太の南半は日本に移り露國は北部をのみ領することゝなりてより商業と各種の產業共不振となり漁業の如きは著敷退步せり移民も亦た漸々減少せしに反して日本側は同島八本來の元氣を以て改善に勉め島内の交通に就ては道路を開きその他出來得る限りの手段を用ひ爲めに發達しつゝあり島内には天然の物產非常に多く炭脈の如き殊に豐富なり而して廣大なる土地は皆開拓せられて田

◎貸金

旭町二ノ一五別府 高橋

有給者には極秘密に低利融通可申候

▲仕立易き草花

春蒔の草花中最も仕立易き種類はカーネーション、ヘリオトロープ、サルビヤ、ダリヤ、スヰートピー、アスター、撫子各種、ペチユニヤ、パンジー、フロツクストラ、睡蓮花、向日葵、ローダンテ、コスモス、雁來紅、美女撫子、金盞花、千日草、天人菊、小町草、百日草等の類にて開花期は五月頃より晩秋に亘りて順次美花を綺くべし▲球根草としてはクヂオラス、リウアシス、クロカニヤ、シクラメン、オキサリス、ベコニヤ、ガラヂユーム、アネモネ、チユリツプ、ラナンキウラス、ダリヤ、アマリ、ス等あり右の内前年九月頃より溫室に培養して早春に開花せしむるものあれど庭園にて自然に開花せしむるも皆應等の花を見るを得べし

文苑

◎鷄林集(五)

冬の卷(上) 安東花圃園審

蝶一つ花から出たり茶の木畑 翼游

つゝく日和の珍らしき冬 翠雲

棟梁の勵みに皆諸はかゞやりて

少し飲ても酒はかくせぬ

有明の頃より冷のめつきりと

案山子の袖は破れ夾竹也

折節は秋にも休む隙ありて

徒然草はよみあきもせず

釜湯の湯こほれては灰神樂

實はんとする顏に愛ある

嫉妬の道從具似も言へぬへり

四五本なれど竹は凉しき

蝸牛の這ふたわたる廁の戶

住めば都よ山のたくても

召使れ初

第三十五回 黑法師

「今も云ふ、早急の大事、さうは致し居られぬ、當家今日の珍客、濱田殿れ年寄國尾殿あらうかの」と佐十郎は熱心なり

「何事を仰せ遊ばしても私は承はりませぬ、私は當家召使ひれ父様れ膝下にある時とは違ひますもの」とれ蓮は云ひ捨てゝ水屋の取方付た餘念なかりき、

野因緣を云ひ立つるとも、大切の御用に役を讓りし據國じ年寄國尾…には一條の關係だも無き他人、例し澤野に待つ澤野の姿は見ねまして代參の役を…の半日が大師寺門前に過したれど必竟…

は顏ませぬ、なれど此はれ父様た身にも限り、この機會逃しては、復何日を期すべき要もない、何事も孝道、暫時耳を貸して給はれ

われは佐十郎は燃ゆるが如き功名の念に驅られて、この前栽へは潜び入りたるなり、前の日圖りなく知人となりし佐倉鈴木の緣を頼りて、濱田公林年寄澤野の袖に縋らんと思ひ立ち、今日の半日が大師寺門前に過したれど必竟…

佐十郎は焦思ち「さうもあらう、…れてあるこれぞ是…大事、兄が天地に…執次の儀、聞き…れ誠は遂…答へ…の切なるべき、願…心難きまでに難なり「これよ妹よ、兄がこれほど頼むを、こりやうなた肯き入れて呉れぬかよ、餘りぢや、餘りに心難うもあると」佐十郎が泣くが如き聲を出し「我身はかりの事ならば、うなた否と云ふを難て

…限りある御代を、今日を外に…月かを待たねばなるまじ、さて、詞を交す自由を得…東軍流兵學を材料、…べきなれど、極なき大河、階段なき高樓には攀ぢら…に馴れたる身、放浪の生涯に飽へたる身に、此上幾年月を待たんとも、他に綏々仕官の蹴を求めんども、貴すべき幾何手もあれねど、家には老境ひ父母術あるを奈んせん、前ト師宅したる時、今に愉央がせる自分となして、御二柱に安心の顏を得させ給ひせて、これ即て私、孝行の手始めぞ申し上げたる詞 昼の如く背精より運び來て、それを思へば今日の代書に澤野の姿を目ぬて不恨みなれ、さりとて昇戶の袖には縋られじ、さて什麼にして緣を求むべき

彼に思さま角さき思ひ惱む間、不圖聞き得たるは、國尾が海老屏傭兵衞方に宿を寄るべしと云へる事なり、海老屏は妹蓮が奉公、母上を折々お出入一家の如く親しく候れば、こゝに又一條の縁が出でく、うれを手寄りて國尾れ對面の榮しを得ば、彼に失ひたるを是にて得ても不思議の幸福を得るかも知れじ、さりとて我名を出すわ叶からず、爲るべくは妹の縁を賴むも妙ならず、まづ佐倉姓を頼みて、うれとなく國尾の心を引いて見て、國尾の袖に縋るも澤野の情に便るも、要は心の望み協へば足る、兎も角も仕官の身となりて、兩親御安堵の樣を見れば足る

されど佐倉は要領を得ずして歸りぬ今は妹の手を借るの外なし、店頭より名乘り掛けて、表向對面を乞ふとも、折が折なれば許すまじ、何事も孝道、見咎めらるゝとも辨解の道はあらんと、ふとく～も内庭へ潜び入りて、た蓮が茶膳運びの役を勸むるよし漏れ聞き、やがての前栽に紛れ込みて、無法にも外面より聲掛けたるなり

廣告

▲東宮殿下行啓 [illegible]

●諸法律の公布 帝國議會の協贊を經たる左の法律案は本日の官報を以て公布せらる 朝鮮に施行すべき法律に關する件 [illegible]

▲渡英諸將の參內 [illegible]

●排日案中止 米國加州に於ける排日案はタフト大統領の干渉にて中止したりと

▲外國郵便規則改正 遞信省令 [illegible]

●海外移民方針 [illegible]

▲二松學舍へ賜金 三島中洲翁 [illegible]

▲實業取締方針 內務省にては [illegible]

▲藏相辭職否認 大藏大臣ロイドジョージ氏は [illegible]

●鴨綠江の密貿易 ……某當局の談…… 鴨綠江岸に於ける國境貿易の現狀は實に [illegible] の巨額に達し而かも [illegible] 通稅規則に [illegible] 元來同沿江に於ける [illegible] に稅關支署ありて通過 [illegible] 義州以北の上流は [illegible] 朝鮮人委員を設けて [illegible] 之を浦江稅と稱し [illegible] 稅五分を徵し居るも其 [illegible] 原價を七掛けとし之に [illegible] を以て實質に於ては三 [illegible] なる然るに一方新義州 [illegible] 事を斷行し毫も假借す [illegible] 毛の微と雖も逃せざる [illegible] 相違いで上流に遡ぼり [illegible] 浦江稅の取 [illegible] 上通關又は浦江稅の取 [illegible] の如きは寥々數ゆるに [illegible] 以外に於ける密貿易の [illegible] の算數を見るべきや [illegible] 國境貿易 [illegible] 支那人の跋扈に委し [illegible] 經濟學上の原 [illegible]

●三南線管掌 三南全線工事は [illegible] 大田並に木浦建設事務所の管掌如何と云ふに凡そ左の如し [illegible] 黑石間約十二哩 [illegible] 石里間連山間約十二哩 [illegible] 江景間約十三哩 [illegible] 群山分岐點間約十七哩 [illegible] 支線約十二哩 [illegible] 分岐點四街里間約四 [illegible] 工事あり） [illegible] 六哩支線十二哩合計 [illegible] 管掌 [illegible] 約六十七哩 [illegible] 木浦間は本支線合計 [illegible] 全線竣工期限は昨四 [illegible] 四ヶ年間即ち來る [illegible] 列車開通の事となる

●三南線近況 三南線工事の最近の工程を示せば建築列車は [illegible] 十三哩三十鎖を運轉 [illegible] し居り一時材料運搬困難のため工事の進行に幾分の遲滯を免れざりし第三第四兩住水院架橋工事並に大田より十五哩附近にあるカット（硬岩堀割）も本月中には全部竣工すべければ來る四月中には京城まで十六哩間の總延列車の運轉を見る可く又豆溪より連山間は藤川組の手により工事中の所右は來る七月末完成の豫定なれども工程意外に捗取り居るが故に豫定より一箇月を早め六月中には連山迄二十四哩五十鎖間建築列車を運轉するやもならん尚は連山江景間十三哩は已に池岐組の手により工事着手中なれば大田より江景迄三十七哩五十鎖は遲くも本年內に全部交通の大福音に接するなるべし

●京元鐵道工事 京元線工事の着手模樣を聞くに各區請負工事に附し工事の進行と共に派出所の如きものを置き根據は當分元山に置く筈なり而して京元鐵道は之を兩端より建設に着手する事となり龍山方面より起工せる分は先般來既に着々進捗を觀つゝあり元山方面は日露戰役時代に敷設したる鐵約八哩位あるを以て今は橋梁の改築と多少の地盤改修を加ふれば足るを以て工事は意外に捗るべく四十四年度には夫より以外新に十哩位の敷設は容易なるべし〆當局技師は語れり

●併合論功行賞 日韓併合に關する功勞者の論功行賞は東京に於て調査一段落を告げたる由にて既に議會も終了したるを以て近く奏請の運びに至るべし而して今回の行賞は單に日韓併合直接の關係者のみに限らずして明治初年以來韓國問題に關し直接間接に功勞ありたるものにも及ぶ由にて彼の佐田、森山、岡本（柳之助）氏等にも贈位又は敍勳の御沙汰あるべしと云ふ今寺內總督以下大官の功賞を漏れ聞くに左の如し

伯爵　正三位勳一等功一級子爵　寺內正毅
子爵　正三位勳一等功二級男爵　大久保春野
桐花大綬章　從三位勳一等　山縣伊三郎
男爵　正四位勳二等法學博士　倉富勇三郎
男爵　正四位勳二等　石塚英藏
男爵　從四位勳三等　小宮三保松
男爵　從四位勳三等　木內重四郎
男爵　正五位勳二等功三級　明石元二郎

此外荒井長官以下に關しては夫れ〳〵敍勳の御沙汰あるべしと確聞す

●地方費補助道路 今期議會の協贊を經て道路橋梁修繕費は一百六萬圓にして別に地方土木費を以て [illegible] 補助三十萬圓なり而して地方廳の經營に屬する道路土木修繕に就ては國庫より平均五分を補助すべき方針にて各道より施設の設計書を徵し居れるが其要求孰れも過大にして既定の定額にては到底之を容るゝ能はず故に總督府に於て精密なる查定を加へ緩急に隨て補助額を決定すべしと

●總督府土木會議 總督府にては廿七日午後二時より土木會議を開き會長山縣政務總監以下各部長官出席今期議會の決定を經たる道路港灣河川修築費施行に就き審議せり

●慈惠院長會議 二十七日午前十時より中樞院事務室に於ける各慈惠院長會議の列席者は藤田總督府醫院長宇佐美內務部長、小原地方局長以下各院長出席總督府の諮問事項に付協議し午後二時より大西軍醫部長の講演あり午後四時散會したり尚は明三日目は協議會慈務規程案及藥價及入院料等改正に關する件を附議し四日目は衞戍病院研究會五日目は事務打合會を開き來る卅一日各歸任する事となりたり

●總督府病院研究會 總督府醫院にては各道慈惠醫院長の出府を機とし二十六日醫學研究會を同院講堂に開催せしが其演題は左の如し因に藤田院長は各醫院長及大西軍醫部長森安博士に正午午餐を饗せりと
▲滿洲ペスト觀察談（醫學博士森安連吉）▲朝鮮醫學に存する產科學習慣の概觀（ドクトル工藤武城）▲[illegible]檢查の價値附朝鮮語と使用する成績（日比野弘）▲腸腹の腸管麻痺に對するエゼリンの効力に就て（賀來倉太）▲大腿骨頸部の骨折に就て（醫學士室谷脩太郎）▲淋診ヂモンストラチオン（佐藤伊藏）▲梅毒性潰瘍に對するサルバルサンの一治驗（土橋末雄）▲サルヴアルサン治驗餘話　河野修三

●民會豫算委員會 京城民會豫算委員會は廿五日午後二時より開議し役所費會議費の二項を審議して散會を告げ廿七日は午後三時より開會の筈なるが同時に戶別等級割及び營業稅、雜種稅の委員會をも開く筈なり

●金融組合增設と補助 今年度豫算に計上されし金融組合補助金は五十二萬五千百五十圓なるが之に依りて增設すべき組合は三十ケ所なりと

●移民の教育設備 東拓移民中[illegible]島に移住地を與へられたるものは男三十五女三十を算し是等の中には學齡兒童八九名を有する由なるが直ちに敎育機關の必要を感じ自力を以て設備すべく申出たりと云ふ

●隊署長會議延期 京畿道警察部にて開會中の分隊長警察署長會議は廿六日を以て終了の筈なりしも事務打合せの都合上一日を延期し二十七日も午前十時より開議午後閉會を告げし筈なり

●朝鮮鑛業現勢 朝鮮に於ける鑛山の許可數は昨年末の調査によれば平北の二一二、平南の七七、咸南の六九、慶南の六三等を其主要なるものとして總計七百三十五鑛區あり其の鑛種を區別すれば金一九三、黑鉛一四一、砂金一七九、銀五七、石炭四二等にして之が礦業者は內地人四百六人、朝鮮人二百四十九人、英人十一人、獨人七人、佛人二人、伊人二人、米人二十一人等なり

▲人さま〴〵▼（十六）

野澤武之助君

君は野州龍谷の人で百萬近くの財產を擁し遠からんものは音にも聞く關東切つての工業家野澤組の若旦那である、嚴父泰次郎氏家の嗣來を慮かり適當の後繼者を仕立つ可く工學研究を勵めて君を獨逸に留學させた、處が工學杯は其處退けとなつて瑞西大學に奔り方角異ひの國際私法を修めドクトルアンドロアの學位を獲て歸つた、瓜の蔓に茄子がなつたとは此事であろよ、歸朝すると國會議員總撰擧の眞ッ際中、處が新知識の君の眼には何處向いても數世期前の馬鹿者ばかり、ソコで勃々と野心を起し議會角逐見事當撰した、豈圖らん日比谷の蛙は君の柄でないモウ政治家は懲々したとて一期限りで廢業し爾來私大立學で敎鞭を採つて居た、後日露戰爭に際し長谷川駐韓軍の法律顧問となり是を緣に當地に腰を据ゑ今現に法學校長を勤めて居る、君は珍無類の儉約家で何んな客でも煎餅布團で待遇する又富豪出身にも似合はず一生懸命蓄財に餘念が無い、其理由は選擧運動の損害六千圓を取り返すのだと言つて居る、道樂は細君を可愛がるのと寫眞を撮るのみだ。

●淸凉里の有望 別項記載の如く京元線鐵道工事は昨年起工以來頗る好成績を以て進行しつゝあり京城市民が第二の南大門外として其繁昌を豫想しつゝある南大門外停車場の位置は電車の終點たる淸凉里に決定既に基礎工事に着手中なるが日本人にして同停車場附近に永住的經營をなさんと現今地所の買入をなす者多く爲に同地附近は俄に活氣付けりといふ

●農談會の開催 京城校洞五星學校內農林講習所長李達元氏は農業改善を目的にて二十八日午後六時より同所に農事談話會を開催し併せて二十八日二十九日の兩日市內農具商出品の農具展覽會を開設何人も參觀隨意なりと因に農談會開催に付ては日鮮を通じ朝野有力者の贊助あり當日は農商工部開城模範場養蠶講習所等の各技師の農林講話ありて餘興として幻燈もある由なれば定めて盛況を示すことなるべし當日會場はパゴダ公園東側北の一丁三階建煉瓦家屋の何人も容易に知り得べき建物なりと

●農林講習所卒業生 別項京城校洞北星學校內農林講習所は去四十二年創立開設爾來第一回に百二十餘名の卒業生を出し本月末に第二回卒業生百餘名を出し引續き二百餘名入學の申込あり漸次盛大に向ひつゝありと因に新學期講習は四月初旬より始業すと云ふ

●總督邸の晚餐會 山縣政務總監は二十八日午後六時總督官邸に今回慈惠院長會議に列席中の各院長及宇佐美內務部長、藤田總督府院長等を招待し晚餐會を開く筈

●間島移住の窮民 北韓窮民の間島移住に就て其筋にて調査したる所によれば昨年八月以後本月初めに至る咸鏡北道よりの移住者實數既に一万五千餘人の多きに達したりと云ふ

●漢城師範卒業式 官立漢城師範學校及び附屬普通學校は來二十九日午前十時卒業式舉行の筈なり

●貞洞普通學校授證式 公立貞洞普通學校にては二十七日午後一時より同校にて證書授與式舉行す

●鹿兒島の觀光團歡迎會 在京仁鹿兒島縣人發起の在京中の鹿兒島新聞主催朝鮮觀光團一行歡迎會は二十六日午後六時より花月樓にて開催せらる古城民長中村商業會議所副會頭始め居留民重立つ有志及新聞記者は特に歡迎の意を表する爲出席し又朝鮮人側よりも趙重應子來會なし後土地調查局副總裁菊池殖產局長の兩氏は曾て鹿兒島縣廳に在任せし由緣を以て臨席し一行を併せ會衆一百五十餘名と算せられさしもに廣き花月樓の大廣間も狹隘を感ずる程の盛況を呈せり配膳終るや先づ柳田節氏開會の趣旨を述べ古城民長を一行に紹介し民長は京城居留民團の沿革より說起し發展の狀況を詳說し延て朝鮮に於ける產業狀態を略述して一行に望む所あり次で田原菊池兩氏の說あり一行を代表して鹿兒島新聞理事にして縣會議員たる兒玉好熊氏起て謝辭を演べ席に復するや宴移り多數の紅裙酒間を斡旋し興湧く中ほどに水尾虎之助氏の席上演說藝妓の手踊薩摩琵琶の餘興ありて近來に稀なき大宴會なりしといふ [illegible]

●總監觀光團招待 既報の如く二十七日午前十一時半より山縣政務總監は鹿兒島觀光團の一行を京城ホテルに招待午餐會を開きたるが總督府より小松總務部長官代理兒原秘書官、藤波通譯官列席したりと

●會議所の談話會 二十七日午前十時より鹿兒島觀光團の一行は南大門町なる日本人商業會議所に集合し會議所役員より商工業上の說明を聞き朝鮮人側よりも漢城民會及會議所の役員列席約一時間餘談話會を開きたり

●觀光團の北行 鹿兒島觀光團の一行九十餘名は今回旅程を變更し平壤及鎮南浦をも視察する事となりたり今其道程を聞くに二十七日午後三時南大門發新義州一泊二十八日午前新義州發午前十時四十八分平壤着同日午後五時平壤發同六時四十分鎮南浦着一泊二十九日午前十時鎮南浦發十一時四十分平壤着同日午後二時五十一分平壤發同日午後十時二十分京城着

●松永師團長歸期 師團長會議の爲め東上中なる松永第二師團長は既に會議も終了し目下仙臺なる留守師團の隨時檢閱をなしつゝあるが四月中旬頃歸任さるべしといふ

●市川參謀長の上京 第二師團參謀長は全國各師團參謀長會議列席のため數日前龍山出發東上したり

●土岐備氏再入京期 第一銀行取締役土岐備氏は過日入京し平壤方面へ出向せしが本日再入京の筈

●群山府尹の入京 群山府尹天野喜之助氏は二十七日城津丸にて仁川着直に入京せり

●阪井技師の入京 總督府技師阪井三太郎氏も二十七日仁川着城津丸にて上陸即日入京せり

●長山乙介氏東上 元警務總監部囑託長山乙介氏は二十九日午前九時南大門發歸東する筈にて同氏は二十七日自宅を引拂ひ浦尾旅館に投宿せり

●宇都宮氏の東上 京城通信社長宇都宮高三郎氏は來る四月三日中央大學二十五週年紀念祝賀會に付朝鮮の學友會を代表して二十九日午前九時南大門發東上の筈なり

●細谷警部母堂逝去 仁川警察署詰細谷警部の母堂は二十七日午前十時逝去二十八日葬儀式執行の筈なり

公人私人

▲水野春明（新義州憲兵隊長憲兵少佐）二十六日浦尾へ
▲村上佐太郎（陸軍二等軍醫）二十六日入京山本へ
▲[illegible]（[illegible]內務部長）同上 [illegible]
▲[illegible]（東洋協會社長）[illegible]
▲[illegible]（北韓新報社長）[illegible]浦尾へ
▲本田信人（朝鮮總督府通譯官）三ヶ月 [illegible]

▲京城手形交換高▼
三月廿七日　金高 [illegible] 八四、八一〇、八九　枚數 四六七

▲治外法權▼
總督府四十四年度の豫算を瞥見して、歲入と歲出との出合ぬと事して、半島財政の困難なる事が一目瞭然に判かる▲而るに妙に怪しきは歲出合計四千八百七十餘萬圓中地方廳費と名の附くものがタッタ四百二十三萬餘圓で、全歲出の十分一にも當らぬことだ、アー四百二十三萬餘圓を十三道に割り振る、一道平均タッタ三十二萬餘圓だ [illegible] 地方開發が出來るか [illegible] ▲明治政府の慣例 [illegible] 論功行賞 [illegible] 日韓併合に關する [illegible] 併合は國家の大事件であつた、之に伴ふ論功行賞があるとすれば [illegible] 伊藤公 [illegible] 駐箚軍隊の功勞、幷は萬人の齊しく認めて居るところだ [illegible] ▲今度當地の高等女學校や各小學校で多くの皆勤生が表彰されたのは結構な事だ、聞說らく皆勤生中の第一番は山口多喜子と云ふ日の出校尋常科卒業生で、物見事に過去六ヶ年間昼校を續けたのだ [illegible] 大阪の高等女學校を卒業した尾村ますと云ふは幼稚園から高女まで過去十五ヶ年間を皆勤したソウだ、本人の名譽、父兄の名譽、眞に羨むに値せりだ。

京城の花 茶羅子 行商

▽出張りましての御披露

京城樓の茶羅子と云へば雑種を以て有名に少々苗の長い所が或る畠の人達に歓迎され少なからぬ御全盛ながら何分故郷横濱には今年八歳になる子供ありて其の養育料迄支送らねばならぬので懐は毎時もピーく

風車五十錢と纏った金錢の三日とあった事のないと云ふ頗る殺風景な財布景氣、現に昨年九月かに年期は満けたのだが借金と云ふ鎖に繋れて今日迄ア、やつて店を張らざるを得ざる仕儀と聞いて見ると諸君氣の毒に成りましよう……誰様ですお隅の方で何んとも無いと仰云るのは……ア壽町の寫眞屋の金田さんですか白ばつくれては不可ません貴方が一番其の所謂其同情なるものを寄せてれ在でのでは御座いませんか、エ、左様でないと然らば拙者が貴殿に代りて泥を吐から何に困ると、素葉抜れて困る位の量見があれば素葉抜れる如な事をすべからずだ此れは君計りに云ふのぢやないよ扨も一日茶羅子チャラくと寫眞撮りに行つたのが壽町の金田寫眞館、茶羅子は椅子にアーチャント、金田さんは三脚の横の方を指差して『コ、を御覧なすつて』と云ふ途端靜肅しくコックリした茶羅子の容姿の美しかりしにゾクゾクする程惚つて終ひ黒布覆つてレンズをば伸ばして見たり縮めて見たり、所謂タメツスガメツ見れば見る程美か容貌此の妓の爲めなら一圓五十錢の玉代、決して吝むに足らずと其の晩直に名差して登樓した以來三日にあげず通ひ詰むるに魚心あれば水心の茶羅子大に嬉しがつての款待が嵩じて遂には『金田シャン、妾、貴郎の來て呉れる喜ばしいんでしがね、お金錢辭しやん我るのが心に掛るんでしよ、ね、夫れよりはねアノね、笑つちや嫌なんでしよ、ね、アノ稲荷さんのお堂でね、ね、ソすれば彌て二圓もお小遣錢として戴きや結構よ』と惚れて居てもう二圓取る丈けは忘れないのが諸君可憐しいでしよう……何に可憐しくないと仰云るのは何様です……ア本町三丁目の……以來愼む、仰云たかさらば此所には名は預るが右の闘……て彼れ稲荷堂を利用して居るとか、エ何んと仰云る、二圓では五十錢高過ぎはしないかと、ヘエ夫れは貴郎[illegible]

出張りましての御披露です

●衛藤進の公判

大分縣人當時本町一丁目代書人衛藤進（二七）の横領罪は二十七日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長宮脇塚原陪席判事野田檢事の係りにて公判開廷せる被告辯護人として木尾大久保高橋の三辯護士出廷傍聴人三十有餘人裁判長は事實の審問を初め被告は逐一犯罪の事實を自認す證據調了りて裁判長は被告に對し殊に被告の如き職業は他人の權利義務を取扱ふ者なれば不正行爲なき旨を諭し被告の如何なる態度なるかを確む被告は何とも申し様はなく只改悛の外なしと涙を流す夫れより野田檢事は本件の犯罪事實は被告の自白に因り明瞭なり然るに被告は獨身の爲め一時遊蕩に耽り事茲に至りし犯罪の動機に情狀酌量す可き點あれば一年の求刑を爲し可然判決を求むと頗る同情ある論告あり右辯護人木尾高橋大久保交々起ちて辯論被害者誰れ一人として告訴の意思なく嘆願書を提出ある位なれば元來社會の事件は成る可く行政處分にして司法處分に付せぬが社會政策の本意なり本件の如く一井に刑事法廷に出し者を無罪となす能はされば刑の執行猶豫の恩典を與へられん事を求む云々と何れも痛快なる辯論ありて言渡は次回開廷日に宣告す可しと閉廷したり

●奥田氏雪冤會

仁川の元老奥田貞二郎氏が不幸疑獄の累を受け長く拘禁の身となり居りたる事は同氏を知ると知らざるとが一様に悲しみ居りたるところなるが氏今回公明なる裁判の結果青天白日の身となり從つて同氏知友諸氏の喜び一方ならず近々同志相謀り氏の爲に雪冤會を催ふすべしと云ふ

●青二才の横領沙汰

山口縣吉敷郡吉敷村字中村百八十五番地藤本勘次郎二男當時京城明治町一丁目吉川金光堂方藤本芳市（一七）は龍山漢江通り四丁目用達業樋口米太郎方に奉公中去る一月十日取引先なる京城南大門通り二丁目金物商山城商會に至り受領すべき金六圓十錢を受取りながら之を遊興に費消し後二月十六日南大門通り二丁目臺商御手洗商店へ仕拂ふべき四圓五十錢も其の儘己が懐にして同樣遊興に費消し後同月十八日物品購入の爲め主人より依托されし十圓の内六圓も同前消費せしのみならず樋口より解傭後本月一日兼て知己なる樋口の店員長谷川太一より博多男帶を借り受け是に自分が衣類一點を加へて龍山山下町一丁目上田質店に一圓二十錢にて入質し横領金は全部其都度龍山三角地料理店一心亭にて酒色に消費せし事發覺龍山憲兵隊にて逮捕され横領罪として取調中

●盗た象牙の將當

廣島縣人當時龍山京町田代貞雄（二三）は昨年九月より京城に來り一定の住所職業なく京龍間を徘徊せるより豫て其筋の注意人物なりしが昨年十月五日京城壽町三丁目古物商田島茂三郎方にて象牙丸撥一個（代八圓）を窃取したるを初めとし外數十ヶ所にて數百圓の金品を窃取したる事南部署岸長野兩刑事探知し目下同署に於て取調中

謝狀

拜啓本校證書授與式に際し御獎勵として優等生に賞品御贈與被成下御厚意の程御禮申上候御贈與を受けたる兒童は勿論本校全兒童に及ぼす感化は尠少にあらず兼て一般の社會に良好の影響を來すべきものと感存罷在候右御禮申上度如斯御座候匆々

三月廿六日 京城民團立南大門尋常高等小學校長 横山彌三

京城新報社長 峰岸繁太郎殿

敬呈時下益御清穆奉賀候陳者昨日櫻井尋常小學校卒業式に於て意外にも拙者四女幸子へ賞品御惠與被下本人は勿論家族一同奉感謝候乍略儀以紙上御禮申上候終に臨み貴社の御隆盛を奉祈候敬具

三月廿四日 澁谷季五郎

京城新報社 峰岸社長殿

●喧嘩の果が縊死

仁川杏洞二十統四戸李文奎（四七）は夫婦仲惡しくして毎日喧嘩の絶間なかりしが廿六日も同様大喧嘩となし夕方日暮に至り李の見えぬより家人は不審を起し捜査したる處自宅の温突内にて縊死し居るを發見し早速其筋へ訴へ出しかば本署より齋藤巡査木田警察醫と共に現場に出張し檢視の上死體は家人に引渡したり

●博徒の親分就縛

大坂生れ當時住所不定賣藥業三は賭博を以て常職となし嘗て仁川に於て賭博の現場を取押へられたるも辛じて逃走し京畿道方面に於て賭博を爲し居たるが數日前又々仁川に來り本町花屋旅館に小林と偽名して宿泊なし居たるを坂下刑事が探知し昨廿七日午前九時難なく逮捕し目下取調中なり

●ヨボの木炭泥棒

廿五日午後八時頃仁川警察署の巡査が本町四丁目佐藤病院前を巡回中木炭二俵を背負行く擧動不審の鮮人を認め本署へ引致取調べたる處仁川杏洞十一統四戸崔福萬（二三）と云ふ者にて目下窃盗犯人として取調中なり

●油斷から罪人を出す

京畿道果川郡下北面黒岩里四統九戸柳元錄（二三）は去る廿二日午後三時頃龍山鐵道構内春田嘉太郎轉宅に際し荷物運搬中簞笥の側に置きありし金縁眼鏡一個を窃取せしより龍山憲兵隊に檢擧され廿七日檢事局に送らる

●判決五件

張福萬の強盗犯は懲役三年▲武田達馬の窃盗犯は懲役六個月に▲崔德榮は詐欺取財にて懲役二年▲高田義五郎は傷害犯にて罰金三十圓▲崔明植外一名の強盗犯は各懲役三年に何れも處せらる

●日本傳道隊紹介

既報ウヰルクス氏昨夜旭町二丁目日本メソヂスト教會に於て特別說教會にて巧妙なる日本語を以て一時間半に亘る大說教をされたり今夕（火曜）七時半不好と題して說教さるゝ由

●月並報恩講

若草町曹洞宗兩大本山別院にては廿八日午後七時より月並報恩講を修行し田中主任の說教ある由

●朝顔百種交り種子の無代配付

今や朝顔播種の時期は目睫の間に迫れり此時に方り大和國郡山町帝國植物會附屬の巫華園朝顔部にては今回觀顔培養の趣味を一般に指導普及せんが爲め多年丹精を凝らして培養せる朝顔種子（丸咲咲分、六曜唐花、雀咲、五切咲、捻梅咲、臺孔雀咲、桔梗咲、茶筌咲、撫子咲、手長性、軸切牡丹咲、獅子咲等）百種交り百粒入種子を此の際五千人に限り分與すべき由なれば要望者はこれが郵送料として郵券十五錢封入して至急申込めば何人にても分與を受くべしと

●演藝だより

●東洋軒雷右衛門 一流の名聲に魅したる東洋軒雷右衛門は愈々二十八日限り當日三十錢均一打ち揚げ平壌、大連、旅順の各地を巡業して歸東すべしと云ふ其所で僕は彼に代り京日子に對して一言辯じて置る、れ氣に障つた雷鳴破壁は同社の親類筋の朝民新聞社の理事阿部鶴之助君が遣つた文句だ阿部ツル君も暫時夫京日子に依りて其の贔負の藝人が京城で叩き下さるとは思ひ掛けもあるまい況んや夫れが自分の遣つた文句からとは夫れから足利勢と云つたを一歩進んで上杉勢と讀めば好いのにと、冷評した積りだらうが見當違ひ龍城云々の處で上杉勢と間違へる筋がないのだもの、晴元が悪い……ハヽ内兜が見へ透いた雷右安心して可而して慢心するな

◎新町讀み込都々逸（三）

四ツ手網 浮世亭魚人

○井門支店 しづ枝
浮世荒浪苦勞の船に 乘つてしづかにつく世帯

○京城樓 宮代子
晴れて相合ならない仲を 知つて降つたかきつの雨

○若春樓 式部
ハイカラ式部の獨身主義が 今に丸髷令夫人

○第一樓 艶子
今更きらひと飽ない辭 元日互に好き合ふて

○井門支店 富士枝
主と手をとり靈山の富士に 嬉し登つた夢を見る

◎都々逸

晩香

妻がよこした手紙の端に 可愛坊やの文もある
なくなげくな悔むな浮世 明日は明朝の風が吹く
今の藝者は油斷がならぬ 三味をひくより袖を引く
親は金かし伜は使ふ 兎角浮世は廻り持ち
昔盛噂かして見たが 今はたつて貧に泣く
花に百度逢ふ客よりも 妾や一夜の主がよい
末にまとめてほしくはあれど 末の百より今五十

●御成座 兄弟義團にて廿八日は菊地幽芳作巳が罪全十場配役は箕輪傳藏（岩村）れ長（田村）利兵衛（吉井）和田みの（塚本）れ作（杉澤）和田浪七（藤澤）笹お幸（小西）櫻田子爵（小泉）れたき（東）塚口實三（木村）野崎うた（江見）玉大郎（糸枝）正廣（君男）

●壽座 大好評を博せし奇術地球齋マンマル一行も一昨夜にて打揚げ亦も立志團一座開演の由にて廿八日は尾崎紅葉作金色夜叉全七場な々配役は荒尾讓助（細澤）間貫一（村山）れ宮（寶井）彈枝（森島）宮の母れ隆（郡山）元輔（花島）佐分利（北村）須佐（阿部）蒲田（齊藤）風早（淺井）

●日の運勢

三月廿八日舊二月廿八日 緑丁酉大安 破△一白 客の嫌を防ぎ保證引受類を避くべし起業開店旅行移轉凶△二黒 婚儀共同組合連盟の事に慎む起業開店移轉旅行祝典中裁に線△三碧 親族知己の事煩累あり他は平和の日婚儀合同組合談合に好し△四綠 取引金品授受證券の事澁滯故障多し盗難遺失防ぐべし旅行移轉披露開店起業凶△五黄 取引交渉掛合中裁離れ難し近親の事累あり起業開店旅行移轉凶△六白 類運の日中裁修交會商會日建築動土の外手控への事旅行出航に尤も忌む△七赤 負傷酒色の害を戒しむ總じて親類の日諸事手控への事近親間不和葛藤の離れあり△八白 盗難防災留意し不和葛藤を戒し取引貸借合談効事らず旅行開店起業婚姻中裁談合住凶△九紫 證券印節の事故靡生せんとす他は幸運の日々凡吉（三一館）

花月の茶羅子

續きのお樂しみにとれしてからのか、坊答へて材料は潤澤に御坐る（春野坊）

約束のにてまれ口を叩けば△花月の茶羅此妓る体裁がといふ柄でない顔は一寸むけて居るがれてんばときては樽中第一先づ陥落した女學生かが擦手的な評すのが適當であろう夫れで浮氣も人一倍で樽についは開俵十郎氏や荘如子の弟且を拿合ひから奪取して牟兵衛をきめてみ外に出でゝは盛んに待合の門を叩きあらゆる手段方法を以て多くの有財餓鬼を膝下に靡くのか根枝其のお陰にはいつも懐が暖ひとの噂さは多くの事實だ△次は同家の仲居お豊江戸ッ子をつかつてしやんくして居るが夫もそのはづ仲居中のチャンピオンと人も許せば自らも許して居るだけあつて海千山千皮が十分とれて居て優に藝的な凌議する資格があるとしは二十四才の油ののつていゝ女盛り何でも二三年前までは横濱辺で遊び人の世話女房で暮して居たのが其男が戸部に在る政府の別莊に行つて仕舞つたので幸ひ自分の友達が京城で働いて居るので我れをたよつて朝鮮にきたわけで此家に腰がおちつくと忽ち持前の虫がむらくとこみあげて來てじつとおとなしく仲居本位が守れず家へ來る客のうちであれやこれやと目をつけて見るとイヤハヤ目移りがする位與瀬稚紳富豊なので密かに毛腕へよりをかけて戒ペンパン考ぷの首を纏めつけたのが抑もそもの初めで夫から後は生來の浮奔を發揮して右に日人左に鮮人前に清人後に洋人と世界共通主義で三日にあげず旅館待合に彼の熊のような体を運んで居るとは戸部の別莊に居る男の夢見が嘘よかろう△次は消華亭のれ多福これが則ち萬亭内侍衆藝者の肩書ある女で一昨年の秋自から望んでこの沈沒艇へ乘り込んだ以來コロ箱に寝間着と枕を詰めこんで盛んに四疊半式を勵行した甲斐があつて毎にダースの客の絶へたることなく上は紳士から下はチゲ君に至るまで萬遍なく優待を受けるので押すなくの大盛況多くの仲間のうちで石灰とか石炭とかを扱つて居る渡邊とかいう男が百度以上に熱して他愛もなく彌々身受の相談になると勿論一千圓と切り出されたので何がさて一塊の商賣物では何百噸と要るのでギャフンとまいつて退却すると内侍曰くれやくいけすかない円丹珍だよとは振つて居る△お次にあらわれるのは誰だろふか一寸一服